

“Let's act now for the future” “Do something for someone and have an enjoyable club life for yourself !”
「未来に向けて今すぐ行動しよう」 「誰かのために奉仕して 自分のための楽しいクラブライフを！」

理事メッセージ



2022-2023年度 東日本区理事
佐藤 重良 (甲府21)

■会員増強について近況■

ワイズの皆さまこんにちは。甲府では10月の下旬から気温が下がり、山々に冠雪が見られるようになり、昼夜の気温差が大きくなってきました。コロナとインフルエンザの流行も不透明ですが、体調管理に十分ご注意ください活躍

してください。

9月1日から「会員増強100日間キャンペーン」を実施中ですが、各部・各クラブの進捗状況はいかがでしょう。Aプラン・Bプラン・Cプランそれぞれチームを編成していただき、チームのキーマンを中心に、候補者をリストアップして活動されていると思いますが、成果を期待しております。11月28日はEMC事業委員会です。活動中の状況の発表をお願い致します。

先日(10月24日Zoom会議)次の時代の日本のYMCAを担う主事の養成研修会がありました。そこでYMCAとワイズメンズクラブの関係を、歴史から説明させていただきました。ワイズメンズクラブの設立(1920年)は米国、YMCAの昼食会にて発案され、今から100年前の1922年にワイズメンズクラブ国際協会が誕生したこと。日本での設立は大阪YMCAの主事奈良傳さんの指導をいただき、大阪クラブが1928年設立されたこと等、ワイズはYMCAの関係者のおかげで100年前から活動してきたこと等を話しました

会員増強についても「世界YMCA同盟とワイズメンズクラブ国際協会との間で結ばれた協力関係の原則」が締結されています。協定書には「YMCAはワイズメンズクラブの会員増強を支援することにより・・・と」明記されています(東日本区22-23年度ハンドブックP25、P26)。私はYMCAにかかわる、各種会議・研修会等にて、会員増強に関してYMCAの関係者の皆さんにご協力していただくことを、お願いしております。YMCA(同盟を含む)総主事さんも総主事会議・研修会等で、ワイズメンズクラブの支援をするよう発言いただいております。

■働きかけのお願い■

ワイズの各部・クラブの担当者(会員増強チーム・EMC他)が、各拠点の担当主事さんに会員増強のPRを働きかけて、ご協力をいただけてください。(例えば・YMCAの退職者・ユースリーダー・OB/OGをご紹介いただく)きっちりとご協力していただけるものと確信しております。クラブ会員の友情と絆を強くして、奉仕とクラブライフを楽しみましょう。宜しく願いいたします。

「未来のために 今すぐ行動しましょう」

今月の強調月間テーマ「BF」

BF(Building Fellowship)

BFについて

小山久恵 (東京サンライズ)

11月はBFの強調月間です。今年の5月に、Brotherhood FundからBuilding Fellowshipへ名称が変わりました。BFは、クラブ間の交流を深め、ワイズ運動のリーダーを養成するための国際協会の制度です。以前は、専ら使用済み切手を集め、整理して換金しましたが、次第に現金による拠出が増えてきました。私は、丁度7年前に、BF代表で、オーストラリアに一月滞在しました。その間全部ホームステイで、日本人には全く会いませんでした。こういう生活をしてみたかったです。特にお客様扱いすることなく、彼らの日常生活に自然に入り込んだ感じでした。お孫ちゃんの球技大会に行ったり、ハロウィンのパーティーに参加したりと日常の生活に漬かってきました。

1か月の休暇が取れる人にはぜひ応募していただきたいと思います。興味のある方は身近の人に聞いて行ってみましょう。

目次

佐藤理事メッセージ	1
BFについて	1
国際アワード速報	2
東日本区書記からのお知らせ	2
／BF代表をお迎えしませんか?	2
第2回東日本区役員会スナップ	3
100周年を覚えて／マーシャル募集	4
LT委員会より「次期部長・事業主任研修会」	4
東新部部大会報告	5
あずさ部部大会報告	6
関東東部部大会報告／湘南・沖縄部部大会	7
訃報・谷治英俊さん急逝	7
会員増強事業主任より／	8
地域奉仕・YMCAサービス事業主任より／	8
国際・交流事業主任より	8-9
ユース事業主任より	9-10
11月・12月の予定／アンケートのお願い	10
YMCA報告	11
国際協会・アジア太平洋地域の現況	12
献金にご協力を／東日本区事務所便り	13
JEF献金のご案内	14
マーシャル募集	15

2021-2022 国際アワード 速報



2022年10月26日(水)午後11時、キム・サンチェ2021-2022年度国際会長による、各種国際表彰の発表がありました。

東日本区の受賞者は、以下のとおりです。

【エルマー・クロウ賞】

長谷川あや子さん

(直前あずさ部部长)

【国際ブスター賞】

□クラブ(6名以上の会員数増加) 甲府21

□個人(3名以上の入会者紹介) 長谷川あや子さん
宮岡宏実さん(甲府21)

□チャレンジ22クラブ賞(昨年度の会員増強100日間キャンペーン期間中に各区の中で最も新入会員を獲得したクラブ)
甲府21



長谷川あや子さん

BF代表をお迎えしませんか?

11月は、「ビルディング・フェロウシップ(BF)」プログラムに重点を置いています。

BFプログラムでは、世界のさまざまな地域に住む他のクラブ会員と出会い、アイデアを共有し、活動情報を交換しあう機会を得ることができます。ブラザークラブのメンバーや、特別なトレーニングや指導のスキルを持ち、クラブの強化に貢献できる人に来てもらうのはどうでしょう?地域大会やエリア大会のゲストスピーカーやセッションリーダーとして、BF代表を迎えることを検討してみたいかでしょうか?

3月に台湾で開催される国際協会100周年記念式典には、BFの資金援助により10名以上が参加するチャンスがあります。この歴史的なYMIプログラムを活用し、参加し、機会を活用し、惜しみない寄付を続けることで、YMIをサポートし続けることを希望します。

ホストBF募集

また今月は、2023-24年度のBF代表の受け入れについて、各エリアが最終的な検討を行う月でもあります(計画書の提出期限は2022年12月1日)。BF代表を受け入れた優良クラブは、翌年、自動的にBF代表を派遣する資格が与えられます。



[Y's Men International November Emphasisより]

東日本区 書記からのお知らせ

【常任役員会報告】

東日本区書記 清藤城宏

10月17日(月)19時から22時05分、Zoomによるオンライン会議で常任役員会が実施されました。出席者は、常任役員5名、監事2名、理事からの出席要請者9名。審議事項8件、報告事項12件でした。審議では第2回役員会に関わる件、また今後の委員会体制、組織の在り方等について話し合いがもたれました。次回11月18日に開催。

【第2回東日本区役員会】

11月5日(土)13時から17時、今期初めて四谷の日本YMCA同盟会議室を会場にZoomによるオンラインと併用で役員会が実施されました。出席者は、議決権者15名中(重複1名)中13名、監事1名、理事からの出席要請者15名、合計29名、内13名が対面出席でした。審議事項5件、特に次年度区書記、区会計及び事業主任案を承認、また新クラブ設立助成金制度の継続が承認さ

れました。報告事項は東日本区の現状報告、国際情勢、次期理事方針、各事業主任・部長・委員長等の活動報告が行われました。特に山田次期理事からは、次年度の方針・計画が示されました。将来どのような社会になっていくのか、そこにどのように若者が関わっていくのか、そのための私たちの責任など、具体策も交えて熱く語られました。今回は約3年ぶりにFace to Faceでの会議、次回4月8・9日第3回の現・次期合同役員会は全員対面と願っております。

国際選挙のお知らせ

今年の国際選挙は、12月16日~来年1月30日までです。投票権は要件を満たしたクラブの会長となります。15名以上のクラブ14クラブと、特別申請の11クラブの合計24クラブが投票権を有します。

▶詳しくは東日本区書記までお問合せください。



利根川太郎 衣笠輝夫 佐藤節子 大澤篤人 荻野清 板村哲也 田中博之 小林隆
 利根川恵子 山田公平 佐藤重良 高田一彦 清藤城宏 (敬称略)



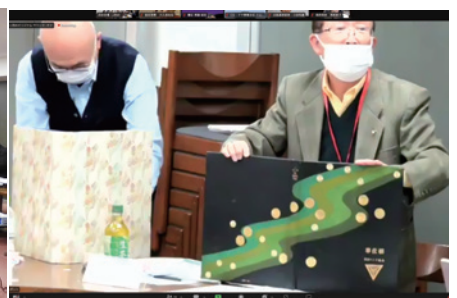
深尾香子 後藤明久 大久保知宏 小山久恵 小谷和雄
 松村仁子 栗本治郎 小松仲史 駒田勝彦 山下 真
 山本俊一 水越正高 仙洞田安宏 加藤重雄 大和田浩二
 山口 了 (敬称略)



役員会風景



役員会風景



JEF 奉仕帳の披露

100周年を覚えて・・・

LEGACY WEEK

PROGRAMME

- YMI Hymn
- Welcome
- Inauguration & call to celebrate
- Excerpts 100 Years Celebration (Aarhus, July 2022)
- Story of our founding
- Overview of our 1st 75 years
- Centennial song
- Video tribute to PIPs
- Club-level centennial celebration highlights
- Promotion of the Taiwan celebration(March 2023)
- Thanksgiving prayer

11月13日 (日)
日本時間夜9時から11時



ワイズメンズクラブ国際協会(YMI)は、1922年11月15日～17日にアトランティックシティ（アメリカ）で開催された世界YMCAの3年に一度の大会で設立されました。

これを記念して、YMIは2022年11月13日～19日をレガシーウィークとし、全てのクラブ、部、区、エリアにおいては、この1週間に100周年記念の特別なイベントや活動を行い、私たちの歴史におけるこの特別な時期を称えることが奨励されています。

是非、奮ってご参加ください。

▶レガシー・ウィーク・キックオフ・イベント
ライブ・ウェビナー 11月13日 (日)
13:00 - 15:00 (日本時間21:00 - 23:00)

<https://us06web.zoom.us/j/85438075670#success>
歌、ビデオ、プレゼンテーション、そして主要なリーダーたちによる祈りが紹介されます。ぜひご参加ください。

東西日本区交流会 マーシャル募集

来年2月4日・5日に、神戸で東西日本区交流会が開催されます。これに先だって、マーシャル（おもてなし部隊）の募集が始まりました。全国のワイズメンが集まるのを、お迎え・おもてなしする部隊がマーシャルです。交通要素や、会場内各所、受付、舞台袖など様々な場所に位置して、会の進行をお手伝いして下さる大切なメンバーです。
(P15参照)



写真は2017年2月4日 5日に行われた第2回東西日本区交流会

LT委員会より 次期部長・事業主任研修会

LT委員会 委員長 山下 真

次期部長・事業主任研修会の開催について

次の日程で標記研修会を実施いたします。

開催月日：12月4日 (日)

午後2時00分～午後6時15分

開催方法：Zoomによるリモート会議

参集範囲：次期・現キャビネット、

次期・現部長、次期・現事業主任他



今回は取り組みを3段階に分けます。

- ①今回お知らせしている「次期部長・事業主任研修会」は基本的な情報の収集と次期理事方針の理解を深めてもらいます。
- ②理事方針を受けて、次期と現事業主任で次期事業委員会の方針作りに着手してもらい12月21日にワークショップを開催し、次期理事と次期事業主任で事業委員会の事業計画の素案を検討してもらいます。その結果を次期と現部長に提供します。
- ③次期理事方針と次期事業委員会の事業計画をみて次期部長方針を現・次期部長で各部の事業方針を検討して頂き、各部の現状と次期方針の交流を図ります。

12月4日 次期部長・事業主任研修会

- 必要な情報の習得
- 次期理事方針の提示と検討

12月21日 次期事業主任ワークショップ

- 現事業委員会の活動の進捗状況の把握と次期事業主任方針の検討
- 次期理事方針の充実に向けた検討

1月18日 次期部長ワークショップ

- 各部の現状把握
- 次期理事方針・次期事業委員会活動計画と次期部長方針に向けた意見交流

研修会の成功に向けまして、皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。



東新部部大会報告 10/8

東新部書記 伊藤幾夫 (東京多摩みなみ)
10月8日(土)13:30~16:40、在日本韓国YMCA9 F国際ホールにおいて開催されました。リアル出席は47名、オンライン出席は12名、計59名の参加者でした。第1部は式典、深尾香子部長の点鐘で開会。挨拶では、部大会のテーマ“初心に帰って、ユースの声に耳を傾けよう”を述べ、海外にルーツをもつ子どもたちをキーワードとして皆さんと共に考える機会にしましょうと話されました。ゲスト・ビジターの紹介のあと、祝辞を東日本区理事佐藤重良さん、東京YMCA総主事菅谷淳さん、在日本韓国YMCA総務朱宰亨さんからいただきました。祝辞のあと、昨年度の東新部表彰がなされました。部長表彰は城井廣邦さん(東京むかで)、CS部門表彰として東京多摩みなみクラブが表彰されました。第2部の研修では、部大会実行委員長の加藤義孝さん(東京)が、「YMCA・ユース・ワイズのパートナーシップがあるからこそ出来ること」を発題を通して学びたいと思いますと話されました。

発題1は、NPO法人メタノイア代表の山田拓路さんから、「海外にルーツを持つ子どもたちへの支援について」と題してプレゼンがありました。日本YMCA同盟とも連携して、ウクライナからの避難民の子どもたちの支援にも関わっている、とのこと。発題2は、在日本韓国YMCA主事の田附和久さんから「海外にルーツを持つ親・子どもたちへの支援について」。主に在日朝鮮人の歴史的背景についての解説があり、在日2世、3世の現在についてのお話をうかがいました。発題3では、韓国の伝統楽器であるカヤグムの演奏を金幸子さん、金美仙さんにしていただきました。このあと、会場、オンライン参加の方々による意見交換がなされました。献金35,250円はNPO法人メタノイアと在日本韓国YMCAに折半して贈呈しました。最後に第2部発題についての所感を佐藤理事に述べていただきました。全員の記念撮影を行い、閉会となりました。

第3部は、リアル参加者による懇親会を行い、16時40分に次期部長の今井武彦さん(東京むかで)の点鐘で閉会となりました。



あずさ部部大会報告 10/15

あずさ部部长 後藤明久

2022年10月15日(土) 11時より15時まで、私の住んでいる忍野村のいちい亭において、あずさ部部会を開催しました。開会点鐘は、やっと開催できたと感じました。

ワイズソング&ワイズの信条の唱和をしました。リアルでのイベントを行い、久々の出会いにうれしさ倍増のひと時でした。75名が特に交通の便の悪い忍野村までおいで頂き、涼しい忍野の風を感じていただきました^^

須藤会員の選んだ聖句『先にあったことを思い起こすな。昔のことを考えるな。見よ、私は新しいことを行う。今や、それは起ころうとしている。あなた方はそれを知らないのか。』は富士五湖クラブの活動をさらに鼓舞して発展させる心湧き上がる思いを感じました。

リアルでの出会いでさらにワイズのつながりを強化にできたと自負しています。佐藤重良 東日本区

理事、中田純子 山梨YMCA総主事の祝辞を頂き、あずさ部の力を再確認しました。甲府21クラブと東京八王子クラブにIYC参加費補助金も進呈しました。

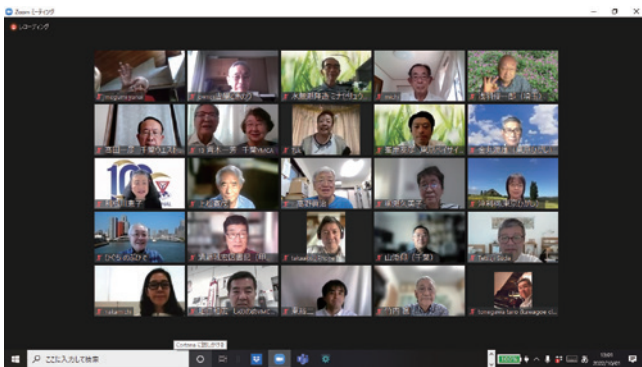
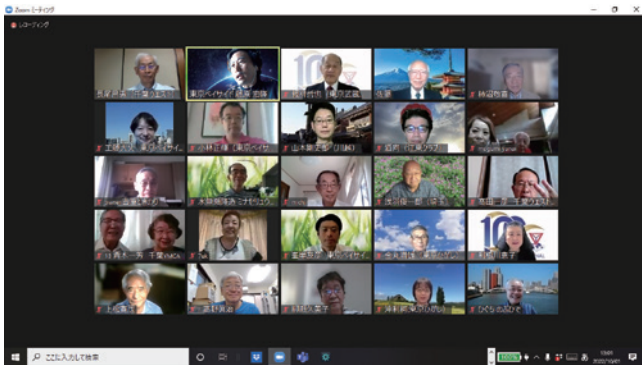
式典を最小限にして、#FFギター弾き語りフォークデュオの尾崎夫妻に懐かしい曲を中心に演奏してもらいました。音楽の力によるワイズのつながりを活性化させた良い機会となりました。皆で一緒に口ずさむ、楽しい時間を過ごせました。

外で集合写真を撮ってから富士五湖クラブ20周年記念例会を開催しました。やはり、顔を突き合わせて語り合うワイズの姿は楽しそうでした。

関東東部部大会開催報告 10/1

関東東部部長 工藤大丈

去る10月1日 土曜日、午前中。秋晴れのどちらかという暑い初夏のような日に、関東東部部大会を開催しました。当日はリアル、リアルとリモートハイブリッド開催等議論が分かれましたが、コロナの状況も鑑みZoomでの開催とし、東京ベイスайдワイズメンズクラブをホストとしまして、第一部、第二部に分けて、第一部は新たなCS活動の開発をディスカッション「Something else? を考える」と題し、ブレイクアウトルームを使ったセッションを行いました。こちらに関しては、後日ベイスайдでまとめて、再提案予定です。第二部は、各事業主査の報告、アピールタイムと短時間ながら濃密な部会となりました。最後になりましたが、会式次第におきまして、不慣れなベイスайдメンバーを支えていただきましたことに感謝申し上げます。



湘南・沖縄部部大会報告 10/22

湘南・沖縄部部長 小松仲史

10月22日(土) 15:00~17:30、湘南とつかYMCAを会場に26名の出席で行いました。第一部は、日本市民安全学会副会長・理事の富田俊彦さんによる講演会。富田さんは、警察官として連合赤軍あさま山荘事件で殉職された内田尚孝第二機動隊長のすぐそばで任務にあたっていらしたことから、犯人逮捕までの攻防を詳しく話してくださり、その後も続く無抵抗で罪のない弱い人に向けた卑劣な犯罪が続く中で、主義主張の違いや、差別や不条理な社会に反発する理由はいろいろあると思うが、「理想」や「平和」を主張して、暴力を手段に尊い人の命を奪うことは絶対に許されない。世界各地でも争いが絶えず、多くの人たちが殺害されている今だからこそ、過去の過ちを繰り返すことなく、人間としてどうあるべきか、命の大切さを真剣に考えて、日本の将来を担う子どもたちに平和へと続く道を示さなければならないと語っていただきました。緊迫したお話の合間には、お得意の手品も披露してくださり、後半では、現在携わっている子どもの見守り活動にふれて、日々のあいさつや交流、街の環境を整えることが安心・安全な街作りにつながっていることを具体的に紹介してくださいました。

第二部では、部長の開会点鐘に続き、佐藤重良東日本区理事、佐竹博横浜YMCA総主事から祝辞をいただき、各担当からの報告・連絡、第26回東日本区大会のアピールがあり、黒川勝次期部長の閉会点鐘によって終了しました。



訃報

ワイズメンの皆様

東京町田コスモスワイズメンズクラブの谷治英俊会長には10月27日午後、急性心不全で急逝されました(享年80)

ここに、謹んでお知らせ申し上げます

故人は、中央大学陸上部と学生YMCA出身の東京YMCA会員として、また、東日本区では元トラベル・コーディネータ

ーとして広く活躍され、国内外で長年多くのワイズメンに愛され、今期は東京町田コスモスクラブ会長として情熱を注いでご活躍頂いている最中でありました

東京町田コスモスワイズメンズクラブ
直前会長 今村路加
副会長 加藤祐一・田畑智子
書記 権藤徳彦
2022年11月1日

会員増強事業主任より

会員増強事業主任
佐藤 節子

①【100日会員増強キャンペーン】

2022年9月1日より12月9日まで実施中

②第2回会員増強委員会開催 2022年9月26日
今回から各部エクステンション委員長が加わりました。会員増強にご尽力ください。

- ・東新部：新潟にできるだけ早くクラブを作りたい。新宿にもエクステンションの話がある。
- ・関東東部：茨城YMCAから牛久センター開設の話聞いた。これを機にこの地区に設立の機運を高めて行く。
- ・北海道部：北見キャンプ場の保全をはかるサポークラブを考えてみる。

③その他の活動

- ・YMCA各所の希望を取り、YMCA施設内外に掲出する「ワイズメンズクラブ案内」ポスターを配布しています。また各地のYMCAの機関誌にワイズメンズクラブの情報の掲載をお願いすることになりました。担当主事に確認して下さい。
- ・事業主任から各部主査へ
「その後の活動進捗状況いかがですか」メールを送信し、活動を促進しました。
- ・湘南・沖縄部より・クラブ会員増強EMC事業担当同士の顔合わせ交流研修会（仮称）を開催する（会長を通して呼びかけている）
- ・主任から各部主査へ「11月に入ろうとしています。その後の活動進捗状況いかがですか」のメール発信。

④会員の状況 10月28日現在

クラブ会員 784名（770人+14人）
クラブ数 59クラブ

地域奉仕・YMCAサービス 事業主任より

地域奉仕・YMCAサービス事業主任
小山久恵（東京サンライズクラブ）

7月から年度が変わり、新しい活動を始めようとする委員会、去年の事業を引き続きやろうとしている委員会があります。CS・Yサでは、来年Week 4 Wasteの運動に多くのクラブ、個人に、参加いただくように、秘策を練ることにしました。皆さまのご協力をお願いいたします。もうひとつはプロボノリスト作成です。ご自身のできることを記入していただくことにより、ワイズメンズクラブのメンバー同士で助け合うことができます。詳しい説明は主査さんから皆さまにお伝えします。コロナ騒ぎもどうか沈静化しだしています。元の活動に早く戻れますように。

国際・交流事業主任より ワイズメンズクラブ国際協会東日本区 国際献金の内容や用途など(参考資料)

国際・交流事業主任 利根川 太郎

エンダウメントファンド（EF）

1958年、将来のワイズ運動に必要な資金を生み出そうと EF が発足し、以後、ワイズダム発展のための国際協会の特別基金として存在している。個人またはクラブ単位で記念すべき行事や慶事があった時に献金し基金とする。これまでの資金を運用して基金残高は、現在までに約3百万スイスフランにまでなっている。2021-22年度は、2022年6月28日現在（国際本部データ）61,691 スイスフランが捧げられた。

基金は、EF評議会の元で運用しているが、2021-22年度、基金の一部からワイズ国際協会の本部があるスイスのジュネーブに独自のワイズ事務所スペースの購入にあてられた。

クラブで、あるいは個人で、50スイスフランの献金で「フレンド」になり、120 スイスフラン以上献金するとゴールデンプックにクラブ名、個人名が刻まれることになる。2021-2022年度の東日本区からの EF 献金は3件、83,300円である。

ビルディング・フェロウシップ・プログラム（BF） （旧ブラザーフッドファンド）

2022年5月にドバイで開催された国際議会で、名称、事業内容の変更が承認され、名称が「ビルディング・フェロウシップ・プログラム」となった。2021-22年度までは、BF代表や国際役員の公式旅行の費用を賄うためにこの基金は使われていたが、名称の変更と共に、基金の用途も一部変更された。

基金の用途は、旅費に40%、ユースとリーダーシップ開発に20%、地域裁量リーダーシップ補助に20%、カーボンオフセットに5%、管理費10%、BF基金への積立に5%である。もともとは、使用済切手を集め整理して、切手市場で換金し献金していたが、現在では、現金による献金が主流となっている。

BF代表とは、ある国から他国を公式訪問する代表者であり、BF代表には、3週間以上他国を親善訪問する「BF文化代表」、国際大会/地域大会への参加費用の一部が支給される「大会代表」がある。いずれも公募によって選ばれるが、応募の条件として、応募者が所属するクラブが、メンバー一人当たり 5 スイスフラン以上かつ総額 75 スイスフラン以上、前年度にBF献金を行っている必要がある。

2021-22年度東日本区全体で集めたBF献金は、現金981,588円+使用済み切手11,758円、合計993,346円である。残念ながらコロナ禍あってBF代表派遣、受け入れは中止となっていた

〈次ページへ続く〉

が、2020年から延期となっていたペルーのBF代表が2023年3月に来日の予定である。

タイムオブファスト「断食の時」(TOF)

クラブ例会等で食事を抜き、その金額分を国際協会に献金する。国際協会では、貧困問題解決等、SDGs関連のプロジェクトを世界中から募集し、国際協会のTOF委員会が8-12のプロジェクト(1年~3年のプロジェクト)を選定し、一つのプロジェクトに最大15,000スイスフランの資金を提供している。2022-23年度は、9プロジェクトに合計110,000スイスフランの資金援助が決定した。多くは、発展途上国でのプロジェクトであり、先進国がパートナーとして取り組んでいるものもある。2021-22年度、東日本区全体で集めたTOF献金は、総額で793,000円である。

ここに一つの例としてアジア太平洋地域の仲間であるマレーシアのジョホールイーグルズクラブが行っているTOFプロジェクトを紹介する。アジア太平洋地域のYMCA/ワイズが、今後も様々な関係の中でさらなるTOFプロジェクトを生み出せるように期待する。

マレーシア・ジョホールイーグルズクラブによる【貧困地域における農業推進プロジェクト】

プロジェクトのねらい：貧困家庭用の福祉住宅の住民を対象に、水耕栽培の農業指導を行い、野菜等の栽培を奨励する。これによって安定した生活を保証できるようにする。

現地の状況：マレーシアの農業技術は遅れている。それによって食料の安定的な提供ができないところが多い。特に、貧困家庭は、農地の確保も難しく、流通もスムーズに行われていない。新型コロナウイルス蔓延により、事態は、より悪化している。このような中でこれらの家庭に新鮮な野菜を届けたいと考えている。

プロジェクトの内容：地域にある2つの福祉住宅に住む30人を対象に有機栽培を学んで農業にかかわることを目指している。安全安心な食糧を確保できるように指導していく。農業だけでなく、魚介類にもチャレンジする。水耕栽培用の器具は、プロジェクト後も使用を続けていけるようにする。申請額/支給決定額：13,373スイスフラン

ロールバックマラリア(RBM)

1988年にWHO、UNICEF、UNDP(国連開発計画)、世界銀行等が始めた世界的規模のマラリア撲滅キャンペーン。現在ワイズメンズクラブ国際協会は、世界YMCA同盟、グローバルファンド、英国のFCDO(外務・英連邦・開発省)と提携・協働してこれに取り組んでいる。ワイズメンズクラブ国際協会がグローバルファンドに寄付すると、その寄付の2倍の額をFCDOがマッチングファンドとして寄付し、世界各地のマラリア撲滅プロジェクトに用いられている。2021-22年度、東日本区全体で集めたRBM献金は481,400円であった。

ワイズ新クラブ設立支援基金(YES)

新クラブ設立の活動を支援するアジア太平洋地域の基金。各区からアジア太平洋地域に拠出された献金は、地域内のクラブ設立支援資金やエクステンション活動の支援に用いられる。例えば、2021年6月にミャンマーで4つの新クラブが発足したが、そのための活動費やチャーターの際の費用などに充てられた。

なお、東日本区では、独自のYES基金を運営している。区内から集められたYES献金から、新クラブ設立支援金規則に基づいて、新クラブ設立時のスポンサークラブまたは部に支援金を支給した上で、区内YES基金残高の半額をアジア太平洋地域に送金し、残りを区内のYES基金に繰り入れている。2021-22年度、東日本区全体で集めたYES献金は255,050円である。

ユース事業事業主任より

ユース事業主任
衣笠 輝夫

活動計画と進捗についてご報告します。

(1)Y'sxSDGsユースアクションチームの支援と選考外チームの支援

進捗：第4回ユース事業委員会にて従来型「オープンフォーラムY」から「ユースアクション新事業立ち上げ」へ検討を開始。深尾東新部部長より、NPO法人メタノアの活動紹介。法人推進委員会からの要請内容について紹介。一般社団法人として、YMCA・ワイズパートナーシップの観点から現在活動している「ユースアクション2022」のフォローと支援を行う。また、新たに東日本区ユース事業委員会として発展させ、新規事業として助成金を受け活動する。外部団体と協働の可能性も視野に入れ検討している。

*参照(4)オープンフォーラムYの開催

(2)第34回YVLF(ワイズ・YMCA協働事業)を開催

2022年9月30日~10月2日 東京YMCA山中湖センター。相磯実行委員長のもと開催。

進捗：コロナ感染者も出ず、無事終了。参加リーダー28名、カウンセラー5名、東京YMCA山手センタースタッフ2名、とちぎYMCAスタッフ1名(川口さん東日本区ユース代表)、横浜YMCAスタッフ2名(西野さん、祐乗坊さん)、基調講演講師(小倉哲さん)ワイズメン参加17名。いろいろな面でターニングポイントになったYVLFだった。報告書は10月末迄に作成予定

(3)インターナショナル・ユースコンボケーション(IYC)へのユース派遣

2022年9月4日~9月9日 タイ チェンマイ

進捗：東日本区から5名、西日本区から1名。日本から

〈次ページへ続く〉

計6名が参加し、コロナ感染もなく無事帰国。利根川国際議員に伴走いただき、大きな経験と学びをされたと思う。報告書は10月末予定。

参加メンバー：川口夏菜子さん（宇都宮クラブ推薦、東日本区RYR、とちぎYスタッフ）、下田万葉さん（甲府21クラブ推薦、山梨Yスタッフ）、木下遥七さん（川越クラブ推薦、埼玉Yスタッフ）、伊藤瑠南さん（東京八王子クラブ推薦・中央大学Y）、峯尾心さん（東京八王子クラブ推薦・中央大学Y）、市橋さらさん（西日本区・京都ウエストクラブ推薦・ワイズコメット）今回YMCAユーススタッフが3名参加されたことは、学Yユース2名にとっても大変よかった。

(4)オープンフォーラムYの開催

2023年2月のユースアクション発表を、さらに多くのユースと共有することを目的。4月～5月開催
進捗：第4回、第5回ユース事業委員会から、より具体的な活動の協議開始。

- ①日時・場所案：来年4月～5月、YMCA同盟会館、またはオリンピック記念青少年総合センター
- ②開催方法案：リアル開催、ハイブリッド開催
- ③参加対象者案：一般外部ユース(大学生他)、リーダー、リーダーOBOG、学Yユース 他
- ④内容案
 - ・ユースアクション2022のフォロー及び支援
 - 1)ゲストスピーカーとして招待し、ユースアクション2022の共有・数名を招待
 - 2)アクションチームに対する資金援助（助成金申請による）
 - 3)CS・Yサ事業委員会との協働。鈴木洋一さん等外部団体との協働を検討

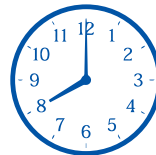
(5)ユース事業委員会の活性化。将来に繋がる委員会を目指す。
進捗：これまで5回のユース事業委員会開催。川口夏菜子さん(RYR)、濱塚牧人さん(とちぎYMCAスタッフ)、城田次期ユース事業主任候補も参加し、伴走中

11月・12月の予定

- [11月の予定] 強調月間 BF
- 11月5日 第2回東日本区役員会
日本YMCA同盟2階とZoomによるハイブリッド開催
 - 10日 ワイズデー（日本初のワイズメンズクラブである大阪クラブが国際協会に加盟した1928年11月10日を記念して）
 - 13日 日本時間21:00 - 23:00
レガシーウィークキックオフ
<https://us06web.zoom.us/j/85438075670#success>
(ウェビナー開催)
 - 25日 YMCA大会（～27日東山荘）

[12月の予定] 強調月間 キリスト教理解 IBC

- 12月4日 祈りの輪
世界中のワイズメンズクラブ会員が「共に祈る時」を持つ日。
12月8日は、ワイズメンズクラブ創始者P・W・アレキサンダーの誕生日。この日を記念して世界中のワイズメンズクラブ会員が、それぞれの国の午後8時に「共に祈る時」を持って地球上を輪でつなぐことを願うことから「祈りの輪」と言う。



アンケートへご協力をお願い

いずれも 11月30日が締切です。
ご不明な点は、広報担当 山本まで
MAIL yamamoto@bestpartners.tokyo

①東西日本区交流会への参加意向についての調査

来年2月4日、5日に神戸で行われるワイズメンズクラブ東西日本区交流会について、各クラブ会長にアンケートをお願いしています。貴クラブでは何人参加予定ですか。当日は「プロポーズ大作戦」と称してDBC応援を行います。お付き合いしたいクラブはありますか？など。

<https://forms.gle/hLQatRBuJgPkdRqZ9>



②ワイズメネット会、ワイズメネット活動について

ワイズメネット委員会よりワイズメネット会、ワイズメネットの現状について調査依頼がありました。クラブ会長にアンケートをお願いしています。貴クラブの会員数とそのうち女性会員の人数を教えてください。貴クラブにはワイズメネット会はありますか？また、ワイズメネットはどんな活動に参加していますか、など。

<https://forms.gle/VZwV1SLSQdLR5Yi9>



YMCA報告

東日本区担当主事
日本YMCA同盟 大澤篤人（茨城）



1. ウクライナ関係

■ウクライナYMCAから、7か月間のレポート9月24日に届いたレポートによれば、ウクライナ国内20カ所のYMCAはいずれも無事で、現在はメンタルサポートを中心に青少年のキャンプやストレス対策講座などを開催。世界中からの募金により累計9万人以上に支援が提供されたことが多数の写真とともに報告されています。

■【朝日新聞に掲載】いま聞く「ウクライナ避難者支える思いは」
日本YMCA同盟のウクライナ避難者支援プロジェクト責任者である横山由利亜主事の記事が、9月16日の朝日新聞夕刊に掲載されました。現在の活動の様子とともに、支援に携わった経緯やYMCAの願いが紹介されています。

■ヨーロッパYMCA同盟

フランス、ポーランド、ギリシャなど7カ国の支援活動の近況が発信されました。教育や就労支援、キャンプやスポーツによる精神的ケアなど、それぞれに工夫して避難者を受け入れている様子がまとめられています。ポーランドから日本への避難支援についても報告されています。

2. 世界のYMCAのトピックス

■パキスタンYMCAより緊急支援要請
国土の3分の1が水没。3,300万人が避難というかつてない洪水に見舞われているパキスタンの様子が、北部ラホールYMCAと親交のある広島YMCAのフェイスブックに掲載されています。日本からは緊急支援として、皆様からお預かりした募金より2,000ドルを送金し、APAYとともに支援継続の予定

■パートナーズ・サポート・グループ (PSG) でアジア各国を支援中
アジア・太平洋YMCA同盟に加盟する各国が連帯し、スリランカやミャンマーなど困難に直面するYMCAのサポートをするPSGですが、今年日本はカンボジア、モンゴル、東ティモールチームのメンバーとなり、支援国会議に出席するなどして各国と共に活動しています。

3. 日本のYMCAのトピックス

■第53回 全国YMCAリーダー研修会(第2弾) 報告
6月、9月、11月の3部構成で開催中の「全国YMCAリーダー研修会」。9月は総勢88人が阿蘇キャンプ場に集い、社会学者の宮台真司さんとともに

「私たちが目指すべき社会について」考えました。主管は熊本と福岡YMCA。広島YMCAの中奥事務局長が報告動画をハイビジョンで公開。11/3には報告会を予定

■ECGL (English Camp for Global Leadership)
中高生対象 12/26-28
英語でのコミュニケーションの楽しさを知り、グローバルな課題に目を向け、地球市民の育成をめざす恒例プログラム。2020年度からはオンライン開催でしたが、今年は「YMCA東山荘(静岡県御殿場市)」と「ユースセンターうしまど(岡山県瀬戸内市)」の2カ所を結んで実施の予定

■愛恵福祉エッセイ募集 (締切 11/11)
東京YMCAが愛恵福祉支援財団と共催で福祉エッセイを募集しています。テーマは「豊かな福祉社会を創るために～断絶を乗り越えて」 一般、学生、専門職、どなたでも応募可

4. 日本YMCA同盟からのお知らせ

■第22回 日本YMCA大会
2年に一度、全国のYMCA関係者が集う日本YMCA大会。今年は4年ぶりに東山荘で、対面式で開催します。各地の仲間と出会い、自らのYMCAを見つめなおす機会として、ぜひご参加ください。Zoomでも参加できます。(締切 11/10)
日程：11月25日(金)14:00～27日(日)13:00
対象：全国のYMCAに関わるすべての方
会場：日本YMCA同盟東山荘(静岡市御殿場)
参加費：33,000円(2泊3日) 全国旅行支援対象
<https://sites.google.com/japanymca.org/assembly>

■世界YMCA/YMCA合同祈祷週(11/13～11/19)
今年のテーマは「Ignite: Praying the Impact (仮)」。Igniteは「点火」の意。祈りによって変革をもたらし、暗闇に火を灯すといった願いがこめられている。ブックレットは出来次第お知らせします。

■YMCA東山荘第57回年末年始家族パーティー
2023年のスタートをYMCA東山荘で迎えませんか。ご家族・ご親戚や友人同士、お一人様、どなたでもご参加いただけます。部分参加も可能です。(締切 11/10)
日程：12月30日(金)～2023年1月3日(火)
参加費：64,439円(お一人様)・4泊5日

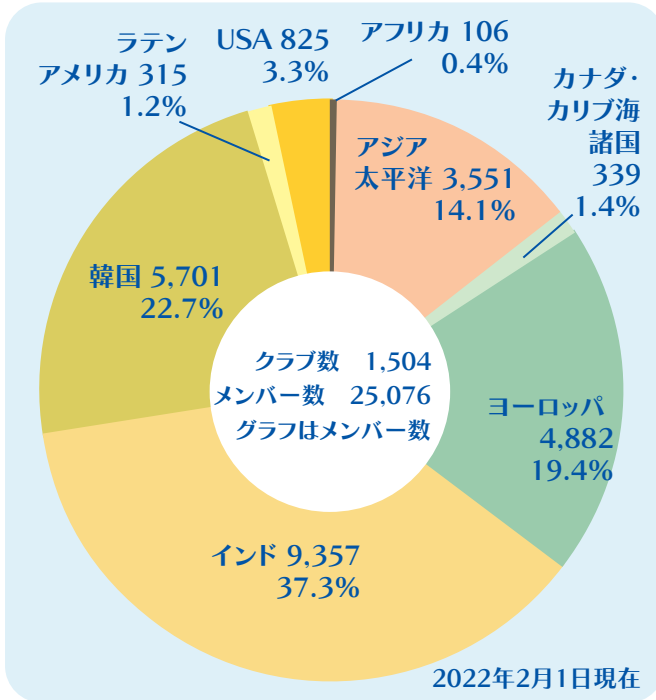
▶お問合せは東山荘まで 電話0550-83-1133

国際協会・アジア太平洋地域の現況

国際議員・次期アジア太平洋地域会長 利根川恵子

1. 現勢

(1) 会員数



(2) 2021-2022年度にチャーターされたクラブ数等 18カ国で103クラブ。新しくワイズが生まれた国はアルバニア、復活した国はエチオピア、ギリシャ、インドネシア、カタール。合計76カ国。

(3) 2022年7月以降にチャーターされたクラブ数
 アフリカ 1
 アジア太平洋地域 6
 (フィリピン2, 東日本区1, 西日本区1, 台湾1)
 カナダ・カリブ海諸国 1
 ヨーロッパ 1
 インド 2
 韓国 6
 USA 1

2. 国際の動向

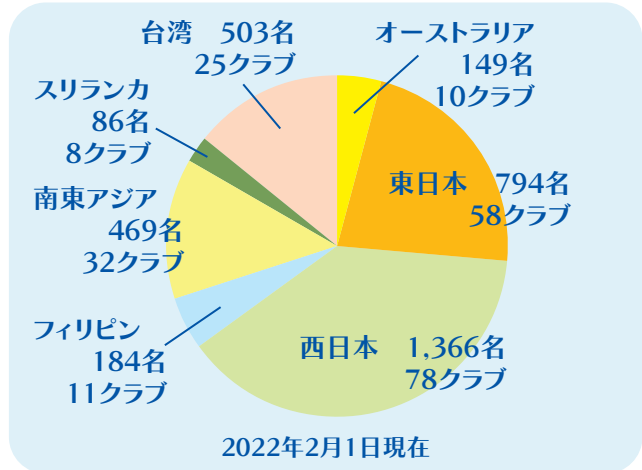
(1) 100周年記念行事関係

- a. 100周年記念祝賀会 (台湾・台北)
 - ・2023年3月10-12日に延期。登録受け付け中
 - ・アーリーバード登録費 420USD
 - ・国際協会ウェブサイトから登録可

<https://www.ysmen.org/centenary/yimi-100/>

 - ・祝賀会に続いて、RDEサミットが12日~14日の3日間開催される予定
- b. 第51回国際議会を第20回世界YMCA大会と同時開催
 - ・2022年5月3日~8日、デンマーク・オーフスにて開催。
 - ・世界YMCA大会のプログラムの中で、100周年記念行事および国際会長の就任式を挙行。

- ・100カ国から、会場1,100名、オンライン1,200名の参加。YMCA関係者にワイズをアピール。
- ・今年度に限り、18歳~35歳の新入会員および既存の会員の配偶者が入会した場合、国際会費50%の減免を決定
- ・今後の10年のブループリントである「戦略2032」を採択



c. ポール・ウィリアム・アレキサンダー遺産計画

d. アジア太平洋地域100周年記念事業

- ・グリーン・エネルギー・プロジェクト
マカティYMCAにソーラーパネル設置のために11,000USDを支援。毎年、電力を販売した利益のうち2,500ドルをASP地域のグリーン活動基金に寄付。今年度第1回の寄付あり (約1,000ドル)
- ・ソングフェスト
浅羽俊一郎ワイズを委員長とする実行委員会がソングブックを作成中。ソングブックの中からワイズが作曲、作詞に関係している曲を来年2月の第3回東西日本区交流会分科会で歌う予定
- ・「フード、遺産と文化」
フードロスの削減と食の安全をテーマに、アジア太平洋地域の16カ国からレシピを集め、電子ブックを作成予定。東日本区からは3名のメンバーがレシピを提供

(2) 2021-2022年度国際表彰

- ・エルマー・クロウ賞 長谷川あや子 あずさ部直前部長
 - ・ブースター賞 (クラブ) 甲府21クラブ
 - ・ブースター賞 (個人) 宮岡宏実 (甲府21)
 - ・チャレンジ22クラブ賞 甲府21
- なお、ハリー・バルンタイン賞は、歴史家国際事業主任のデビー・レッドモンドさんが受賞

(3) アジア太平洋地域大会・アジア太平洋地域ユースコンボケーション

100周年記念祝賀会が2023年3月に延期になったため、2023年8月に予定していた地域大会、地域ユースコンボケーションの開催期間、開催場所等を検討する可能性あり。

(4) 国際選挙

- ・2023/2024年度次期国際会長および同年度次期国際会計
- ・アジア太平洋地域選出次期国際議員
- ・投票期間：2022年12月16日~2023年1月30日
- ・投票権のあるクラブ会長は必ず投票を！

ウクライナへの募金についてのお願い

「ウクライナ募金」について
 [東日本区の口座へ振込いただく場合]

- ◆振込口座
 ゆうちょ銀行からの場合
 ゆうちょ銀行
 口座記号番号 00110-0-362981
 他の金融機関からの場合は、振込者の名前しか記載されないののでゆうちょ銀行からの送金に統一致します。
- ◆振込取扱票(ゆうちょ銀行)への記入方法
 - ①「おなまえ」欄
 個人の募金者・氏名を記入(カッコ書きでクラブ名を記入) 献金者が誰かを特定
 クラブの場合・通信欄に「〇〇クラブの献金」と記入ください。
 - ②「ウクライナ」と通信欄に記入ください。

[クレジットカードで献金を頂く場合]

下記QRコードもしくはURLはとちぎYMCAの支払いページに繋がります。

<https://www.tochigiymca.org/payment/bhp.php>

ウクライナ緊急支援募金

このウェブサイトでは、クレジットカードを用いて1,000円から献金が可能です。



JEF募金についてのお願い

「JEF募金」について
 あなたの記念日に、JEF献金を！
 ワイズ運動の継続と維持発展の為の大切な資金です。結婚記念日、お子様のお誕生日、古希、還暦など。

【詳しくはP14のチラシをご覧ください】
 東日本区ワイズ基金
 ○みずほ銀行 四谷支店 普通預金3066690
 ー社) ワイズメンズクラブ国際協会東日本区



東日本区事務所便り

東日本区事務所長 小林 隆

入会者一覧

2022/10/31

入会日	部	クラブ	入会者	紹介者・他
2022/10/1	富士山部	御殿場	杉山博恵	再入会
2022/10/20	北東部	仙台青葉城	金原道子	クラブー同
2022/10/20	北東部	仙台青葉城	齋藤 篤	川上直哉(石巻)

敬称略

東日本区理事通信 2022年11月号

掲載に関するお問合せは

発行人：東日本区理事 佐藤 重良
 編集長：東日本区書記 清藤 城宏

①メール kuniseido@gmail.com
 ②FAX 050-3737-5829

感謝の気持をJEFへ!!

東日本区ワイズ基金

◎ワイズ基金とは?...

ワイズ運動の継続と維持発展のための資金で、皆様方からの献金によって成り立っています。

◎現在の献金残高は?...

2022年10月末の時点で1,362万円の残高があります。

◎これまでどんな支援を?...

- 日本YMCA同盟 東山荘100周年事業
- Change! 2022 会員増強推進事業
- 国際大会で使用する通訳機の購入 など...

◎献金はどんな時に?...

 <p>クラブ周年行事・祝会</p>	 <p>DBC・IBC締結</p>	 <p>結婚記念日</p>	 <p>還暦・古希・喜寿...お祝い</p>
 <p>快気祝い</p>	 <p>お子さん・お孫さんの誕生日</p>	<p>その他 会長・部長就退任感謝 ワイズ役職就退任感謝 ワイズダム発展のため ...など</p>	



東日本区ワイズ基金運営委員会



献金振込先：みずほ銀行 四谷支店 普通預金 口座番号 3066690
口座名義：(一社) ワイズメンズクラブ国際協会東日本区



ワイズメンズクラブ国際協会



第3回東西日本区交流会

語ろうワイズの未来！ともに手を取り次の100年へ

マーシャルスタッフ大募集！！

開催期間 2023年2月4日（土）～5日（日）

開催場所 ANAクラウンプラザホテル神戸

神戸YMCA

2022年にワイズメンズクラブ国際協会は100周年を、東西日本区は25周年を迎えました。

東日本区・西日本区の多くのワイズメンが一堂に会し、交流を深め次の100周年に向けて語り合える、お楽しみプログラムも盛りだくさん。是非この機会にマーシャル（おもてなし係）として大会を盛り上げてみませんか？

日本中から参加されたワイズメンを最高の笑顔で出迎えご案内出来るお役目です。記念すべき東西日本区交流会の大成功に向け、皆様のお力をお貸し下さい。新たな出会いと感動が貴方を包み込む事は間違いなし！

多数のお申込をお待ちしております。

フリガナ	
氏名	
所属クラブ	
携帯電話	
メールアドレス	
住所	(〒 -)
コメント欄	

申込締切 2022年11月30日

お問合せ 第3回東西交流会 マーシャル委員長 中村 隆司（京都ウェルクラブ）

TEL 090-3264-1818 mailto:nakamura-sangyo@rouge.plala.or.jp

お申込み先 FAX: 075-381-6066 Mail : nakamura-sangyo@rouge.plala.or.jp